

★チタニア膜による防汚効果・劣化防止・帯電防止

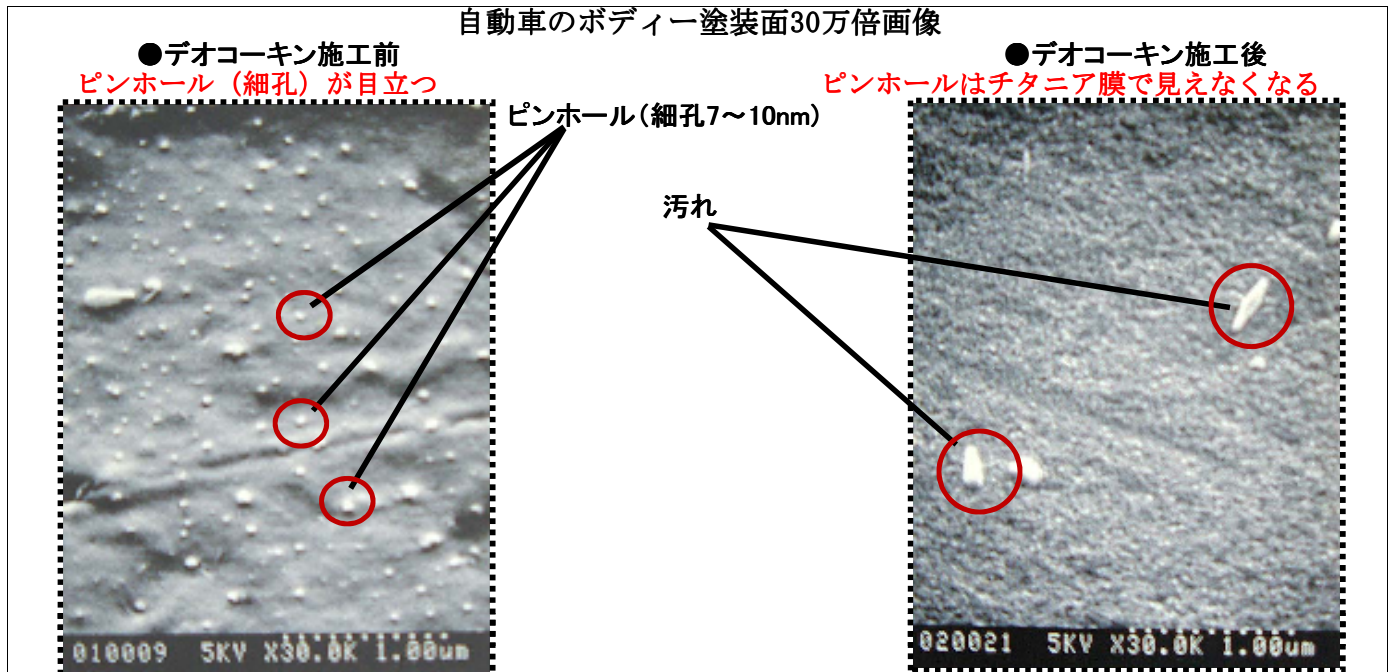
●チタニア膜と防汚効果

下の画像左側は自動車の塗装面を30万倍に拡大したものです。白い粒は塗装が乾燥する時にできるピンホール（細孔7～10nm）です。

このような穴に落ち込んだ汚れはコンパウンド等で穴ごと削り落さない限り汚れを取ることはできません

下の画像右側は自動車のボディ塗装面にデオコーキンをスプレーガンでコートした物を30万倍に拡大した物です。銀系酸化チタンの超微粒子（5nm）で「びっしり」と埋め尽くされているのが確認できます。

これがデオコーキンの「チタニア膜」です。このチタニア膜は汚れが入り込む余地をなくして汚れにくくし汚れが付いてもこのチタニア膜の上に乗っている状態である為、簡単に落とすことが可能になるのです



●チタニア膜と劣化防止・帯電防止

チタニア膜は有機物質を含まない純粋な酸化銀と酸化チタンのみの金属膜です。

紫外線や酸化による劣化を防ぎますので基材の劣化防止効果があります。

また、チタニア膜の効果として水の分子が乗りやすくなるので静電気防止効果にも役立ちます

デオコーキン施工車と未施工車では5年、10年と年月が経過してもデオコーキン施工車の方が見た目の差が歴然です。

★メンテナンスの方法（デオコーキンは簡単メンテナンス！）

●ハーフメンテナンス

他社の製品では「メンテナンスフリー!コートしておけばメンテナンス不要!」と宣伝広告をしているコーティングがありますが、実際にその様な製品があるのでしょうか？

当社の製品はお客様に簡単にメンテナンスをして頂くものを「ハーフメンテナンス」と呼んでいます。実際にコート前とコート後ではメンテナンスの回数が半分で良くなったりメンテナンスの人員を削減できた事例も多くございます。

●メンテナンス方法

デオコーキンコート後のメンテナンスは、水拭き・水洗い又はDC150による清掃で美観を維持できます。数ヶ月おきにDC150・DC500にてチタンを補うことにより効果がアップ致します。

チタンの粒子（銀）は半永久的物質です。数年の摩擦摩耗を繰り返すことにより表面のチタンは剥がれても細孔の中に入り込んだチタンは剥がれずまた、汚れもくい込むことはありません。

1年毎の再コートもしくはご自身でのメンテナンスコートをお勧め致します。

